



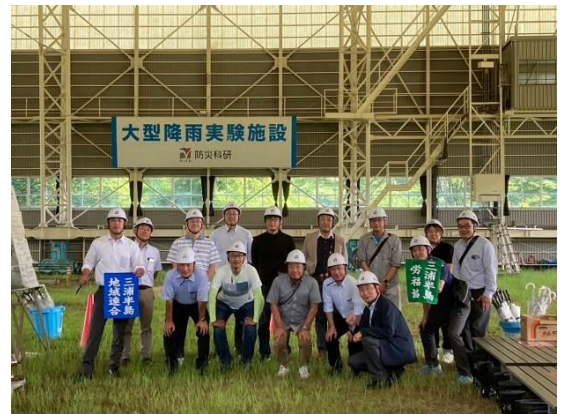
## 三浦半島地域連合主催・労福協共催にて 防災・減災に特化した地域外視察実施!



三浦半島地域連合主催、労福協共催で6月3日～4日にかけて、新型コロナウイルス前の2019年以来となる、宿泊をともなう地域外視察を16名参加のもと行いました。



今回のテーマは、近年、自然災害が激甚化し、地震をはじめ、台風やゲリラ豪雨による災害も年々増えており、今年に入っても『能登半島地震』、『台湾東部沖地震』により多くの人命が奪われている状況であり、三浦半島地域連合としても政策・制度要求と提言で減災対応などの提案している



中、今回は防災にスポットをあてた研修視察を計画、高エネルギー加速器研究機構、防災科研『つくば本所』、首都圏外郭放水路などを視察しました。

印象に残った視察は、2つあり、初日3日は防災科研『つくば本所』は地震を再現するための世界最大規模の実験装置である「巨大岩石摩擦試験機」や、世界最大級の散水面積を持ち、毎時300mmのゲリラ豪雨も再現できる「移動降雨装置」等、地震や水害などあらゆる自然災害



をシュミレーション出来る設備をもとに減災に向けた研究が進んでいることを知ることが出来ました。4日の視察では



首都圏外郭放水路、首都圏のゲリラ豪雨や大雨から、洪水・浸水を守るために1993年に着工し、13年の歳月をかけ2006年に世界最大級の地下放水路が出来上がり、完成以降、年に10回程度稼働し、地域を水害から守る役割を果たしています。



今回は視察については、常にバス移動であったことや宿泊も兼ねることが出来たことにより、視察に参加した皆さんと交流をふかめられたことも、今回の視察の大きい成果でした。

今回の視察を活かして、今後進めて行く、2025年度に向けた政策・制度要求と提言における、災害に強い町づくりに生かしていきます。





# 2024 三浦半島統一メーデー! 初の逗子開催!



4月27日(土)10時より、逗子市の逗子第1運動公園・時計台広場にて『2024三浦半島統一メーデー』を開催しました。朝方小雨が残る中でしたが会場には約1,950名が訪れてメーデーを楽しみました。

スタッフは雨が降る中、8時に集まり、会場準備を行いました。9時30分頃には準備も整い、10時スタートの予定でしたが、オープニングを飾って頂く『日産労組の和知太鼓』については雨の影響で、残念ながら演奏が出来なくなりました。

しかしながら、準備しました『ふれあいミニ動物園』、『キッチンカー』、『模擬店』、『子供向け遊具』などは予定通りスタートし、参加者は思い思いに楽しんでいました。



10時30分から式典をスタート、及川実行委員長の挨拶の後は、忙しい中を多くの来賓(連合神奈川仲副会長、4市1町首長、国会議員、国会議員、三浦半島地域連合議員団)からご挨拶を頂いたのちに、メーデースローガン『「連帯の力で 平和と人権を守り 誰もが安心して暮らせる新たなステージへ!被災地の復旧・復興に向けて みんなで支え合い・助け合おう!』、メーデー宣言を採択、最後は団結ガンバローで式典をしめました。



式典後は祭典(アトラクション)に移行し11時30分から『ソシオテックウインドオーケストラ』、12時20分から『ものまねショー花』、13時10分から地元逗子のシンガーソングライター『NAOYUKI』がそれぞれ素晴らしいパフォーマンスを披露、会場は大いに盛り上がりました。

アトラクションの間には移動動物園をはじめ、キッチンカーなどの美味しい飲食、子供向け遊具などもあり、参加者は大変満足していました。



14時からお楽しみの大抽選会を行い、15時には片付けもほぼ終了し、無事に2024三浦半島統一メーデーを終了しました。



## 2024 三浦半島地域連合OB会意見交換開催!!!

5月29日(水)18時から、鎌倉市大船駅のわび茶にて2024三浦半島地域連合OB会意見交換会をOB会22名、現役五役6名、合計28名で開催しました。

早坂事務局長の司会で会をスタート、冒頭に茂泉会長から、昨年12月の総会から約半年がたち、今回は場所を徐々に大船に変更して、皆さんと対面の交流会が出来ることへの感謝をのべ、乾杯しました。

30分後には近況報告予定でしたが、近況報告が出来ないほどの盛り上がりを見せ、アツという間の2時間、新型コロナウイルス前の雰囲気と勢いが完全復活しました。最後は山口副会長から、今回参加のメンバーを見ると60才以上の方が多い、次回はそれぞれの組織で若いOBを同行して、この先10年、このOB会が継続できるようにして行きたいとの挨拶で締めました。

